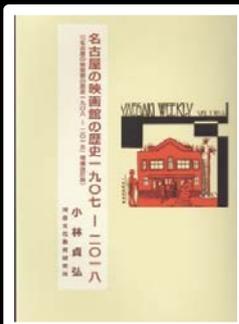


座談会『映画館からみた千種区 過去・現在・未来』



『名古屋ちくさ映画祭』

区制50周年記念55日間54作品全プログラム
千種区制施行50周年記念事業実行委員会
(1987)

『名古屋の映画館の歴史』

1907-2018 増補改訂版
小林貞弘／著 河合文化教育研究所
(2019)

『小さな映画館から』

平野勇治／著 安住恭子(2021)
名古屋シネマテーク元支配人
平野勇治氏の遺稿集。

千種区制50周年記念事業として実施された「ちくさ映画祭」。今池で営業を続ける名古屋市最古参のミニシアター。かつて映画の配給・興行などを手掛けたヘラルドグループ創業者古川為三郎氏も在住していた千種区には映画に関わりの深い歴史があります。しかし、時代の経過とともに映画館数は減少し、現在は新型コロナウイルスの影響下で千種区の映画文化は厳しい状況に立たされています。

千種図書館では、今後も千種区での映画文化の灯を絶やさず、さらなる発展に向けて、研究者・映画関係者をお招きした座談会を開催します。名古屋や千種区の映画館の変遷やコロナ禍での現状、今後の展望を語っていただきます。また、図書館2階特集コーナーでも映画館や映画文化に関する資料の展示・貸出を行います。(3月20日～4月15日)こちらもご利用ください。

開催日時

令和3年3月27日(土) 14:00～15:00

出演者

小林貞弘さん(椋山女学園大学非常勤講師)
永吉直之さん(名古屋シネマテーク支配人)
山口雅さん (映画情報誌ライター・編集者)



会場

千種図書館 集会室

参加費

無料

対象・定員

一般 12名(事前申込制)

申込

3月11日(木)窓口9:30～ 電話10:00～ *先着順
申込は本人ならびに家族分のみとさせていただきます。

申込先
問い合わせ先

名古屋市千種図書館(千種区田代町字瓶杵1番地の137)
TEL:052-781-7431 FAX:052-781-7447



*当日は座談会の様子を録画し後日、配信予定です。

*コロナ禍の状況次第では座談会の内容が変更・中止になる場合があります。ご了承ください。

座談会 録画配信のお知らせ

コロナ禍で集えない方のために、この座談会の様子を録画し、4月以降に「なごや動画館まるはっちゅーぶ」(<https://www.city.nagoya.jp/dogakan/>)で一定期間(約1か月間)視聴可能にする予定です。視聴時期などは4月以降に名古屋市図書館ホームページ等でお知らせします。

SS名古屋シネマテーク

1982年6月に誕生したミニシアター。映画関連書籍(和書2500冊)や雑誌(和雑誌3000冊)、パンフレットも収集。2021年2月現在、千種区で唯一営業を続ける映画館。

図書館をご利用ください！

読書や生活に役立つ本がたくさんあります！

親子で楽しめるおはなし会もやっていますよ。

県内在住・在勤・在学であれば、ゼロ歳から貸出カード（名古屋市立図書館共通貸出券）がつくれます。保険証などの証明書をお持ちください。当日から使えます。



「予約」をすれば、ほかの図書館から本の取り寄せができます。

本に関する質問や相談、暮らしの中の疑問があれば、お気軽にお尋ねくださいね。

資料の提供や情報の案内により、問題解決のお手伝いをします。

☆名古屋市千種図書館

〒464-0803

千種区田代町字瓶杵1番地の137

電話 **052-781-7431**

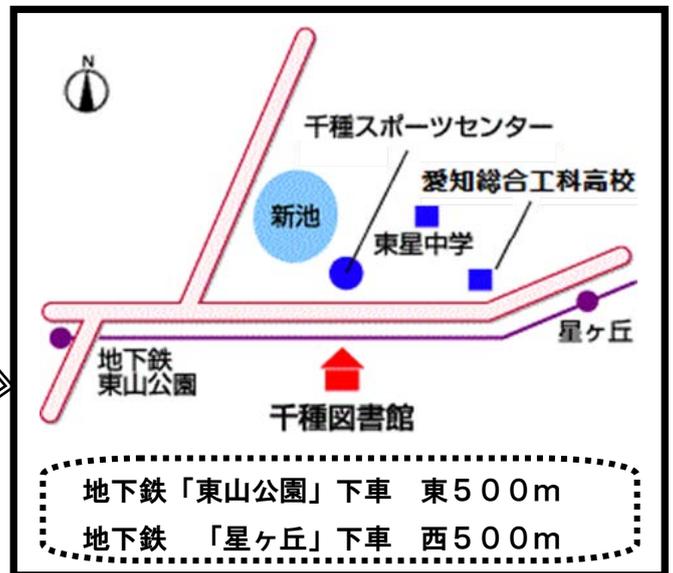
愛知県下の図書館施設で一番建物が古く、築50年以上になるレトロな図書館です。（蔵書は訳0万冊）隣接する東山動植物園とのコラボイベントや名古屋に来た外国人の方を応援する事業等を実施しています。

過去やこれからのイベントや事業の情報は名古屋市図書館ホームページをご覧ください。

名古屋市図書館

検索

絵本作家高畠純さん作成 千種図書館キャラクター「ゴッチ」



☆ご利用案内

開館時間

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

休館日

月曜日（祝日は開館し、直後の平日に休館します）

第3金曜日（祝日は開館します） 年末年始など

貸出と予約

資料	貸出点数	予約点数
本・雑誌	6冊まで	6冊まで
CDなど視聴覚	3点まで	3点まで
紙しばい	3組まで	3組まで

期間は2週間です。市図書館全館で返却できます。

図書館ホームページ <https://www.library.city.nagoya.jp>